



『火山の大研究 ふん火のヒミツがよくわかる!』

造事務所/編集・構成 鎌田浩毅/監修 PHP 研究所 2007

火山のことが気になるときは、火山の知識がたっぷりつまったこの本をどうぞ! 「日本にはいくつ火山があるの?」「マグマって何?」など、火山の正体としくみがわかる一冊です。また、災害だけでなく、火山が私たちにくれる「おくりもの」を知ることもできます。



『素数ゼミの謎』

吉村仁/著 石森愛彦/絵 文藝春秋 2005

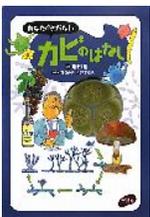
アメリカに、13年、あるいは17年に一度だけ同じ場所に大量発生する、セミがいます。13も17も素数(1と自分自身でしか割り切れない数字で1より大きいもの)であることから、このセミのことを著者は「素数ゼミ」と呼びます。どうして13年とか17年という周期で発生するの? 奇妙な「素数ゼミ」の秘密を探ってみませんか。



『ぼくは昆虫カメラマン 小さな命を見つめて』

新開孝/写真・文 岩崎書店 2010

子どものころから昆虫が大好きだった新開孝さんが昆虫写真家になるまで、どんな風にすごしてきたのでしょうか? 見すごしがちな、ちいさな生きものの世界を、じっと観察すると、新しい発見や感動が、たくさんあるようです。新開さんは、げんざい、三股町に住んでいます。



『あなたの知らないカビのはなし』

粕谷亮美/文・編集 鈴木逸美/絵 熊田薫/監修 大月書店 2010

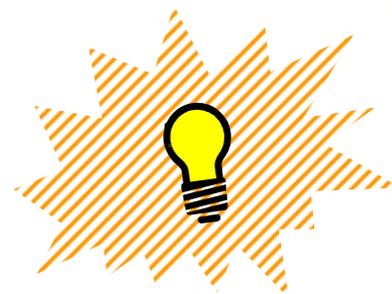
人間にとって悪いイメージが多いカビ。でも人間の役に立ったり、環境をまもったりしてくれるカビもあるのです。この本を読んで、知られざるカビの世界を知ること、カビ達と上手に付き合っていくことが出来るかもしれませんね。



『国境なき大陸 南極 一きみに伝えたい地球を救うヒント』

柴田鉄治/作 富山房インターナショナル 2009

南極は、地球上で唯一の国境のない大陸です。その南極って、いったいどんなところ? 温暖化や核戦争の危機を救うには、「世界中を南極に」すればいい? 元新聞記者の著者が伝える、「南極から見た地球」の話。かわいらしいペンギンの写真やエピソードも登場します。



サイエンスどきどき

それ、しってる!

…でも、なんで そうなるの?

どうやったら そうなるのか、それは しらない…

そんなこと、ありませんか?

わたしたちの とても みぢかなところに、
かがくが ひそんでいます。

あたらしい はっけんや、
おどろきを くれる 本たちを
あつめてみました!

このブックリストは出版社の許可を得て表紙に掲載しています

2011年7月 発行

宮崎県立図書館 こどもしつ

でんわ(0985)29-2596



『こうら』

内田至/ぶん 金尾恵子/え 福音館書店 1988

カメは、きょうりゅうのじだいから、あまりすがたをかえずにいきのこってきたはちゅうるいです。カメのこうらは、かたくてがんじょうなだけではなく、いろいろなくふうもされています。そのみをまもる、こうらのひみつにせまります。



『おそらにはてはあるの?』

佐治晴夫/さく 井沢洋二/絵 玉川大学出版部 2003

そらにはては あるのかな? どうして よるは くらいのかな? つい子どもがきいてしまう質問、だけど大人でもなかなか答えられな質問に、やさしく答えます。星の色と夜の空の色のコントラストがはっきりした絵本です。



『はちみつができるまで』

片野隆司, 榎本功/写真撮影 藤原誠太/監修 ひさかたチャイルド 2011

あまくて おいしい はちみつは どこで どんなふう に できるのでしょ
う? この本では、ようほうかの おじさんや、みつばちの ふだん みる
こと の できない おしごとぶりが、しゃしんで しょうかいされていま
す。みつばちの こと が かわいく おもえてきます。



『たねのはなし』

かしこくておしゃれでふしぎな、ちいさいのち

ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵 千葉茂樹/訳
ほるぶ出版 2008

たねは はずかしがりや。ふくを きかざる たね。はだかの たね。たね
の くふうや ふしぎが いっぱい つまった おはなしです。

いろいろな しゅるいの たねについて うつくしい イラストで しょう
かいしています。



『時間のコレクション』

飯村茂樹/写真・文 フレーベル館 2010

木の一年や、せみの「うか」、カタツムリの いどう…じっさいに見てか
んじるのが むずかしい、いろいろな しぜんの うつりかわりや へんかを、
しゃしんをつかって みるこ とが できます。子どもから大人まで、おお
くの 人に見てほしい 本です。



『ミイラの大研究』

なぜ、どのようにつくられたのか?』

造事務所/編集・構成 近藤二郎/監修 PHP 研究所 2010

ミイラとは、人間の遺体(いたい)をそのまま保存したもののことです。
人工ミイラは、なぜ、どのような方法でつくられたのでしょうか。ミイラ
のひみつや歴史を、イラストや写真とともにわかりやすく解説しています。



『津波は怖い! みんなで知ろう! 津波の怖さ』

沿岸技術研究センター/編 港湾空港技術研究所/監修
丸善プラネット 2010

見やすい図式で説明してあり、津波のことを知るには、うってつけ。東
北地方のさい害がおきるまで、わたしたちにとって、津波は、あまり現
実的なものではありませんでした。科学的な方向から、津波はどう起き
るのか、どういった対さくができるのか、見てみてはいかがですか?



『土の色ってどんな色?』

栗田宏一/作 福音館書店 2011

土の色って、何色? オレンジ、うすみどり、グレー、むらさき、ピンク、
白。この本では、日本国中からあつめられたたくさんの色の土が紹介さ
れています。土のイメージが変わるかも!?



『宇宙がきみを待っている』

若田光一, 岡田茂/著 汐文社 2011

日本人で初めて、宇宙ステーションに長期たいざいした、若田光一さん。
宇宙ステーションでの様子、子ども時代から宇宙にあこがれていた若田さ
んがどうやって宇宙飛行士になったのか、など、宇宙飛行士になって空に
行ってみたいくなる、わくわくする本です! 宇宙マメ知識もついています。



『元素がわかる事典 発見の歴史から特徴・用途まで』

宮村一夫/監修 PHP 研究所 2010

たった 100 数種類の「元素」が、家や学校、その他すべての世界をかたち
づくっています。この本は、むずかしいと思われがちな「元素」について、
元素とは何か、どんな元素があるのか、どのように利用されているのかな
どわかりやすく説明しています。